

表 1-6-1 調査地の位置、調査日時等（静岡県）

項目	詳細
調査地点（ライン）	1 地点：静大裏山常緑針葉樹林 2 地点：久能山ケーブルカー下広葉樹二次林 3 地点：清水川パークウェイ運動公園上広葉樹二次林～果樹園 4 地点：草薙ゴルフ場裏常緑針葉樹林～果樹園 5 地点：北矢部果樹園
調査日	平成 8 年度：各 1 日ずつ 2 回 1996 年 12 月 23 日、1997 年 2 月 15 日 平成 9 年度：各 1 日ずつ 4 回 1997 年 4 月 13 日、6 月 1 日、8 月 9 日、10 月 10 日

1-6-2. 調査結果

調査の結果、種ごとの痕跡確認数を表 1-6-2 に、調査記録を表 1-6-3 に示した。

痕跡確認数は、平成 8 年度に 16 例、平成 9 年度に 21 例であり、痕跡が確認されたのはタヌキ、イタチ、ハクビシン、ノウサギ、モグラ sp、ヒミズの 6 種であった。これらの確認種には貴重種は含まれなかった。

痕跡確認数が最も多かったのはイタチの 13 例、次いでタヌキの 11 例であった。その次にノウサギとモグラ sp が 5 例、ハクビシンの 2 例、ヒミズの 1 例と続いた。

痕跡確認数の多いイタチとキツネについて確認地点を見ると、イタチは地点 2 と地点 1 と樹林地で多く確認された。タヌキはイタチと同様に地点 2 で多く確認された他、市街地に近い地点 5 で最も多く確認された。その他の確認例が少ない種については、ハクビシン、ノウサギ、ヒミズが、イタチと同様に地点 1、地点 2 および地点 4 の樹林地で確認された。モグラ sp は、地点 2 をのぞく全地点で少数確認された。

調査地点別の中・大型哺乳類の痕跡確認数を比較すると、地点 2 における痕跡確認数が最も多く 14 例で、次が地点 1 の 10 例であり、両地点は樹林環境であった。しかし、次いで痕跡確認数が多かったのは市街地近郊の地点 5 であった。これは、タヌキが多く確認されたためであった。

その他、調査時以外の情報として、清水市においてアブラコウモリらしき種が数頭飛翔しているのが目撃された。

表 1-6-2 中・大型哺乳類種・地点ごとの痕跡確認数（静岡県）

種名	地点 1	地点 2	地点 3	地点 4	地点 5	合計
タヌキ	0	3(+1)	1	0	6	11
イタチ	5	7	0	1	0	13
ハクビシン	(1)	1	0	0	0	2
ノウサギ	2	0	0	3	0	5
モグラ sp	2	1	0	1	1	5
ヒミズ	0	1	0	0	0	1
種数	4	5	1	3	2	6
合計	9(+1)	13(+1)	1	5	7	37

注 1：表中の数字は、2 年度を通じた痕跡確認数を示す。

注 2：調査記録の種名の後ろに？がつけられたものについては、かっこ書きで示した。

表 1-6-3 中・大型哺乳類ライン調査結果（静岡県）

番号	調査日 天候	時間	地点 番号	種名	確認方法	確認状況
1	1996.12.23 晴れ	12:00～ 12:30	1	ノウサギ	フィールドサイン	糞
2		13:10～ 13:40	2	イタチ		糞
3		15:20～ 15:50	4	ノウサギ	フィールドサイン	糞
4				イタチ		
5・6	1996.12.23 曇り	16:00～ 16:30	5	タヌキ：2例	フィールドサイン	糞
7	1997.2.15 晴れ	8:07～ 8:58	1	ノウサギ	フィールドサイン	糞
8・9				イタチ：2例	フィールドサイン	糞
10				モグラ sp	フィールドサイン	モグラ塚の痕跡
11・12		9:15～ 10:00	2	イタチ：2例	フィールドサイン	糞
13		10:20～ 10:47	3	タヌキ	トラップ (トラバサミ)	罠に捕まっていた
14		11:25～ 12:00	4	ノウサギ	フィールドサイン	糞
15・16		13:10～ 13:40	5	タヌキ：2例	フィールドサイン	糞
17・18	1997.4.13 晴れ	7:40～ 8:19	1	イタチ：2例	フィールドサイン	糞
19		9:05～ 10:00	2	ヒミズ	目視	死体が半分食べられていた
20				イタチ	フィールドサイン	足跡
21				ハクビシン	フィールドサイン	足跡
22				タヌキ？	フィールドサイン	糞
23		11:02～ 11:36	5	タヌキ	フィールドサイン	糞
24	1997.6.1 曇り後晴れ	8:05～ 8:30	1	ハクビシン？	フィールドサイン	糞
25		9:30～ 10:30	2	イタチ	フィールドサイン	糞
26				タヌキ	フィールドサイン	足跡
27				イタチ	フィールドサイン	足跡
28				イタチ	フィールドサイン	糞
29	1997.8.9 晴れ	6:34～ 7:11	1	モグラ sp	フィールドサイン	痕跡
30		7:30～ 8:06	2	タヌキ	フィールドサイン	足跡
31	1997.10.10 晴れ	8:10～ 8:58	1	イタチ	フィールドサイン	糞
32		9:15～ 10:00	2	タヌキ	フィールドサイン	足跡
33				モグラ sp	フィールドサイン	痕跡
34		11:35～ 12:05	4	ノウサギ	フィールドサイン	糞
35				モグラ sp	フィールドサイン	痕跡
36		11:00～ 11:30	5	モグラ sp	フィールドサイン	痕跡
37				タヌキ	フィールドサイン	糞

1-7. 土地利用の状況

第1回調査では、国土数値情報により解析を行った結果、静岡県の広域モニタリング調査地域は都市的な環境で自然度は非常に低かったことがわかった。最大の割合を占めたのが「建物用地」で約42%であった。次いで高い割合を占めたのが「果樹園」で約15%、「森林」はその次で約13%にしか過ぎなかった。

第2回調査時に作成された土地利用図を図1-7-1に示した。

土地利用は、大きく分けて以下の2つの区分に分けられた。

①西部および北東部に広がる、静岡市の中心市街地および清水市の市街地の一部

②有度山を中心とした森林と果樹園からなる日本平地区

「果樹園」は特に有度丘陵の北東部に多く、そのほか北西端の丘陵や南西部の安倍川河口部右岸にも見られた。有度丘陵北西部では「樹木畑」(茶)が卓越した。

静岡市の中心市街は古くから商業地、住宅地としての土地利用が進み、昭和の初期まで水田地帯だった駅南地域も、昭和30年代以降宅地化が進行し、第2回調査時には大谷川周辺一帯のみが市街化調整区域として水田地帯の様相を残していた。

日本平地区は全域が市街化調整区域にあたり、県立自然公園に指定されたため、人手がほとんど入っていない自然林も比較的豊富に残されていた。しかし、山頂の平坦部にはホテル、ゴルフ場および天文センターなどの観光施設が設置され、日本平パークウェイや静鉄日本平ロープウェイなどの交通機関も設置された。また山麓部の大半は果樹園および茶畑等の農地によって占められ、その他にも大谷、草薙周辺の山麓部の一部に団地や学校等の比較的大規模な造成による土地利用が行われ、人間による開発の影響が大きかった。

第1回調査時と比較すると、特に大規模な開発等による土地利用の変化はなかった。

1:25,000 地形図 NI-54-32-11-1
しずおかとうぶ (静岡11号-1)

土地利用図

静岡東部

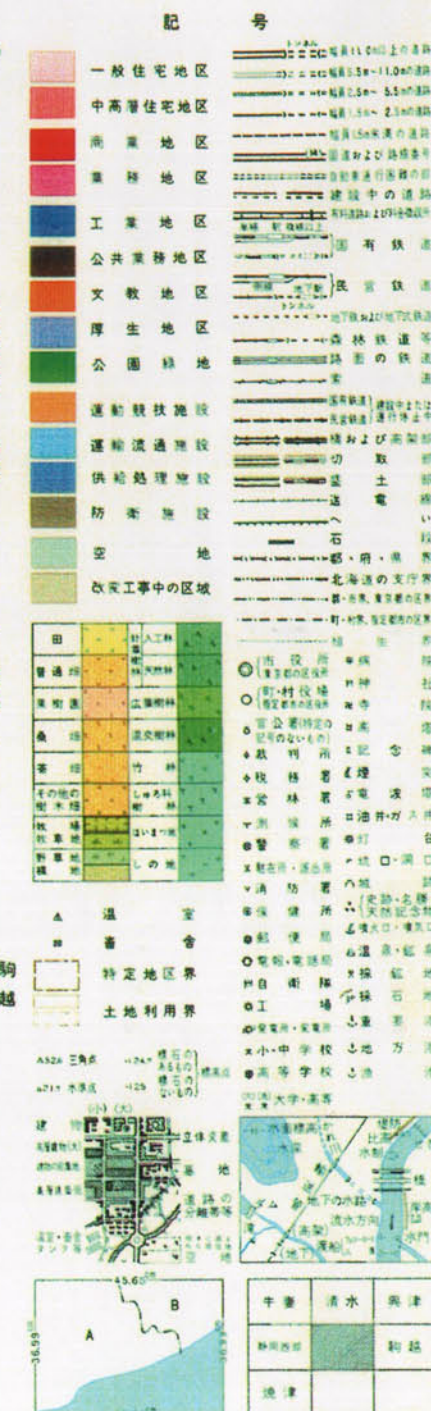


図 1-7-1 土地利用図(第2回・静岡県)

昭和53年3月30日発行(6色刷) 著作権所有兼発行 国土地理院